

## 斜里町の CO<sub>2</sub> 排出量について

以下を目的として、斜里町の CO<sub>2</sub> 排出量を推計しました。

- ・2030 年目標として掲げるべき CO<sub>2</sub> 排出量（国の目標：基準年度比で 46%削減）を把握。  
→ **基準年度の排出量を把握。**
- ・目標実現に向けて、現状の排出量とからどれだけの取り組みが必要となるのかを把握。  
→ **現状年度、中期目標年度の現状趨勢排出量（BAU 排出量<sup>※</sup>）を把握**

なお、斜里町における CO<sub>2</sub> 排出量の推計に際しては、以下を対象年度としています。

基準年度	2013 年度
現状年度	2019 年度
中期目標年度	2030 年度
長期目標年度	2050 年度 ※参考

推計の方法として、以下の 2 種類を行いました。

按分法	環境省が公開する「部門別 CO <sub>2</sub> 排出量の現況推計」結果と同内容となる。
積上法 (按分法に、一部積上法による補正を含む)	産業部門（製造業）と家庭部門は、積上法による推計により補正を行う。※家庭部門は、町民アンケート結果を、また製造業についてはヒアリング等で把握した実排出量データを利用。

### ※BAU 排出量 について

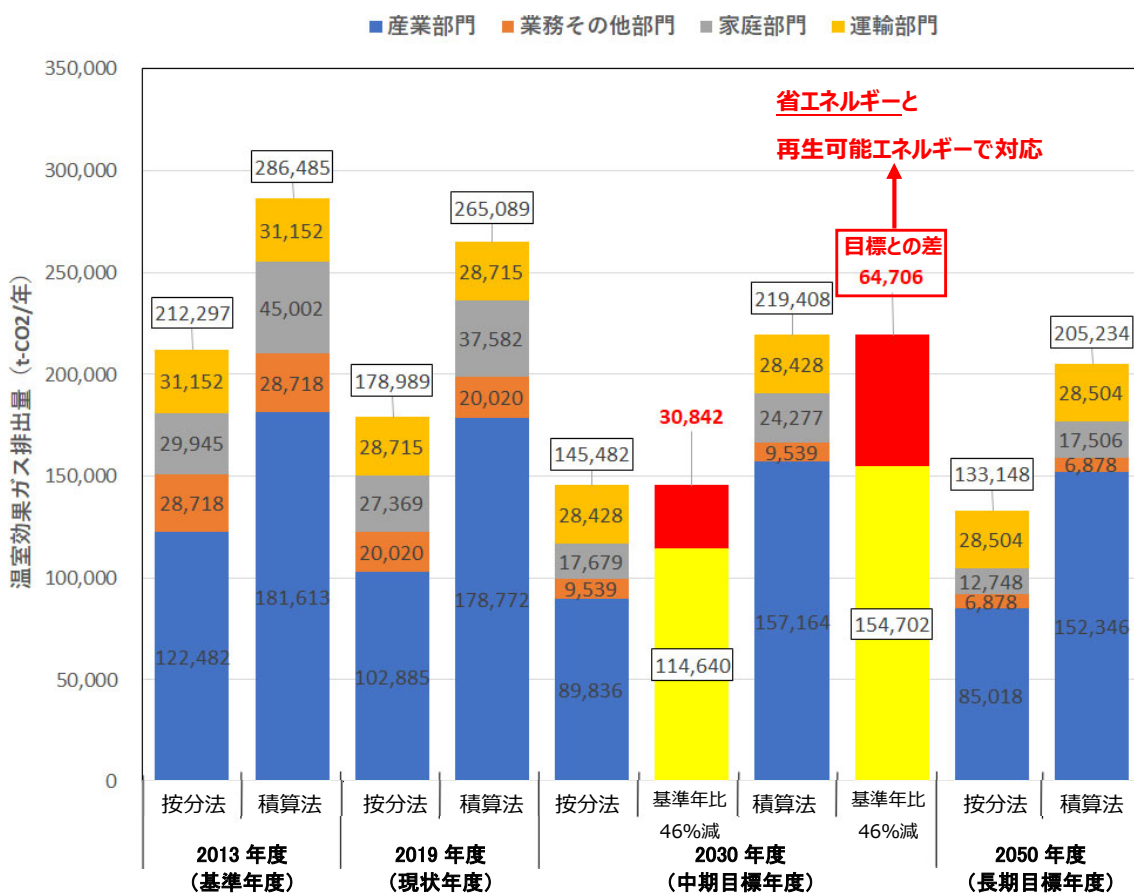
追加的対策をとることなく、現状の社会環境が継続したと仮定した場合の将来排出量。この度の試算では、以下の通り想定しています。

- ・人口に起因する活動量が変化することとして想定。
- ・旅客自動車保有台数は統計式より将来数を想定。
- ・製造品出荷額は現状実績で推移することを想定。
- ・電力排出係数が将来的に低減することを想定。（環境省「地球温暖化対策計画」において、2030 年度の全電源平均の電力排出係数は「0.25kg-CO<sub>2</sub>/kWh」）としている。

斜里町の CO<sub>2</sub> 排出量推計結果は下表の通りです。

按分法による推計に対し、積上法では…

- ・産業部門（製造業）は大きい（按分：7.3 万 t-CO<sub>2</sub>⇒積上：14.0 万 t-CO<sub>2</sub>）
- ・家庭部門は大きい（按分：1.8 万 t-CO<sub>2</sub>⇒積上：2.4 万 t-CO<sub>2</sub>）
- ・排出量全体は大きい（按分：14.5 万 t-CO<sub>2</sub>⇒積上：21.9 万 t-CO<sub>2</sub> 約 51%増）



積上法による推計が、より斜里町の実情を把握しているものと考えられますので、**本計画に係る議論は「積上法」に基づく数値を採用**します。（ただし、国が公開するデータは按分法に基づいていること、また他市町村の多くは按分法を採用していることから、按分法による数値も参考値として併記します。）

**基準年度比 46%削減は、154,702 トン-CO<sub>2</sub> です。**

現状年度（265,099 トン-CO<sub>2</sub>）と、中期目標年度（219,408 トン-CO<sub>2</sub>）を比較すると、現状のままでも 45,681 トン-CO<sub>2</sub> の排出量が減少しますが、さらに、**追加対策によりさらに 64,706 トン-CO<sub>2</sub> の排出量削減が必要**です。